

文 教 厚 生 常 任 委 員 会 記 録 簿				
会 議 日 程	令和7年9月9日 10:20～11:16			
場 所	瀬戸内町役場4階 議員控室			
出席委員	永井委員長	栄副委員長	柳谷委員	泰山委員
	里山委員			
欠 席 委 員				
説明のため出席した者の職氏名	保岡町民生活課長	山畑町民生活課長補佐	平瀬係長	
	信島保健福祉課長	静島保健福祉課長補佐	勝田係長	
付 議 事 件	1. 所管事務調査「こども育成環境整備に関する調査」について			
	(1)町民生活課・保健福祉課聞き取り (2)委員長報告について(意見取りまとめ) (3)今後の所管事務調査について			
担 当 職 員 名	宮原書記	委 員 長 署 名	永井 しずの	
会 議 の 概 要				
<p>1. こども家庭センター設置に向けた進捗状況と今後のスケジュール 令和8年4月の設置に向け、担当課より現在の状況を報告。</p> <p>・準備状況とスケジュール：現在、設置場所の確定、人員確保に向けた総務課との協議、および業務の整理を行っています。今後は令和7年2月まで計4回、県が主導するワークショップ（研修会）に参加し、補助金や他自治体の課題について検討する予定。また、10月からは事務改善審議会において審議が行われる。</p> <p>・設置場所：町民生活課（衛生部門）が水道課と統合して移動するため、その空いたスペースをセンターとして活用する計画(予定)。</p> <p>・組織・人員体制：保健福祉課（母子保健事業等）の業務を町民生活課に移管し、スムーズな開設を目指す。職員数は、現行の児童母子係6名に加え、保健師2名、看護師1名、さらに補佐級や主査など2名を増員し、11名体制でのスタートを総務企画課と協議中。</p> <p>・専門職の確保：言語聴覚士（ST）については現在も言葉の相談を委託しているが、郡内でも人数が少なく確保が課題となっている。作業療法士（OT）については、現在検討中である。</p> <p>2. 意見交換と委員からの提言</p> <p>・教育委員会との連携：視察先の事例（日置市等）を参考に、教育委員会との連携の重要性が指摘された。町側は、現在も「チャレンジダウンタウン」事業等で社会教育課と連携しており、今後も実務レベルでの円滑な運営に努めると回答。</p> <p>また、永井委員長からは視察先で活用されていたスクールソーシャルワーカー（SSW）の配置も参考にすべきとの意見があった。</p> <p>・周知と親しみやすさ：栄副委員長は、SNS等を通じた取り組みの周知を要望した。泰山委員からは、愛称（ニックネーム）の公募を検討してはどうかとの提案があった。</p> <p>・利便性とDXの推進：泰山委員より、申請書類のペーパーレス化などDXを積極的に取り入れ、保護者の負担を軽減するよう要望が出された。</p> <p>3. 意見書の取りまとめについて</p> <p>委員各自の意見をまとめた検証案（3点）について協議。</p> <p>・「町内全域での子育て支援サービスの提供」や「子供の最善の利益を最優先とする理念の明文化」などが盛り込まれ、最終的に26日までに取りまとめることとした。</p>				

会 議 の 概 要
<p>4. 次期調査事項（所管事務調査）について 次回の調査テーマとして、介護・福祉分野の「担い手不足・人材確保」が提案された。</p> <ul style="list-style-type: none">• 具体的な検討項目：<ul style="list-style-type: none">◦ 給付型奨学金制度の導入に向けた後押し。◦ 古仁屋高校での初任者研修の実施や、自衛隊員家族の活用による人材確保策。◦ 特定地域づくり事業協同組合の利活用。• 今後の予定：9月議会での決定を目指し、詳細を11日に再度集まって協議することとした。